

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式／インデックス型	
信託期間	2010年5月31日（当初設定日）から2021年1月15日までです。	
運用方針	ハンセン中国企業株指数（円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	ピクテ中国株インデックス・マザーファンド受益証券
	マザーファンド	中国企業の株式（預託証券を含みます。）
運用方法	<p>①マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ハンセン中国企業株指数（円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行います。</p> <p>②マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として中国企業の株式（預託証券を含みます。）に投資します。</p> <p>③実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主な投資制限	当ファンド	<p>①株式への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>②同一銘柄の株式への実質投資割合には制限を設けません。</p> <p>③外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。</p>
	マザーファンド	<p>①株式への投資割合には制限を設けません。</p> <p>②同一銘柄の株式への投資割合には制限を設けません。</p> <p>③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。</p>
分配方針	<p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。</p> <p>①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>②収益分配金額は、利子・配当等収益の水準および市況動向等を勘案して委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないこともあります。</p> <p>③留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>	



PICTET

ピクテ・インデックス・
ファンド・シリーズ
－中国株
愛称：ピクテIF中国株

運用報告書(全体版)

第20期

決算日：2020年1月27日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、「ピクテ・インデックス・ファンド・シリーズ－中国株」は、2020年1月27日に第20期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

ピクテ投信投資顧問株式会社

東京都千代田区丸の内2-2-1

お問い合わせ窓口

投資信託営業部

電話番号 03-3212-1805

受付時間：委託者の営業日の午前9時から午後5時まで

ホームページ：www.pictet.co.jp

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額			ベンチマーク		株式組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率		期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
16期(2018年1月25日)	16,331	0	22.8	14,216	23.7	98.5	236
17期(2018年7月25日)	13,702	0	△16.1	11,601	△18.4	96.9	199
18期(2019年1月25日)	13,156	0	△4.0	11,142	△4.0	99.1	189
19期(2019年7月25日)	13,505	0	2.7	11,204	0.6	97.0	184
20期(2020年1月27日)	13,816	0	2.3	11,472	2.4	98.5	191

(注1) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注2) ベンチマークは、ハンセン中国企業株指数を委託者が円換算したもので、株式の組入れが基準価額へ反映されるタイミングを考慮して設定日(2010年5月31日)の翌営業日の基準価額に合わせて指数化しています。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式組入比率
		騰落率		騰落率	
(期首)	円	%		%	%
2019年7月25日	13,505	-	11,204	-	97.0
7月末	13,495	△0.1	11,195	△0.1	96.9
8月末	12,213	△9.6	10,102	△9.8	96.7
9月末	12,601	△6.7	10,403	△7.1	97.5
10月末	13,107	△2.9	10,843	△3.2	98.3
11月末	13,305	△1.5	11,016	△1.7	98.3
12月末	14,136	4.7	11,734	4.7	99.0
(期末)					
2020年1月27日	13,816	2.3	11,472	2.4	98.5

(注1) 騰落率は期首比です。

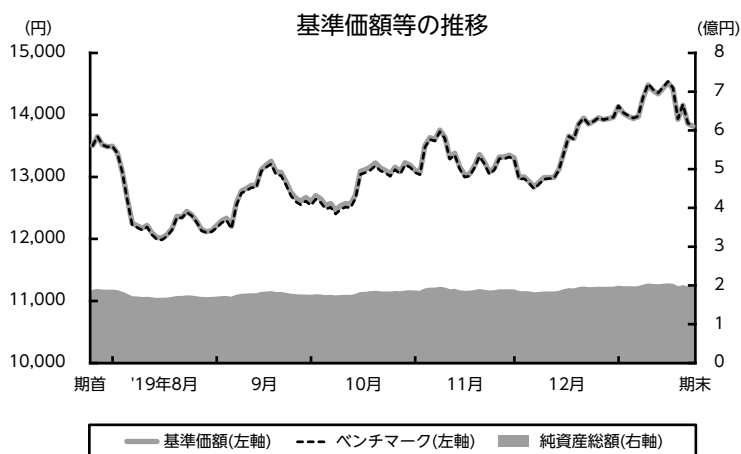
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「株式組入比率」は、実質比率を記載しています。

(注3) ベンチマークは、ハンセン中国企業株指数を委託者が円換算したもので、株式の組入れが基準価額へ反映されるタイミングを考慮して設定日(2010年5月31日)の翌営業日の基準価額に合わせて指数化しています。

■当期中の運用状況と今後の運用方針 (2019年7月26日から2020年1月27日まで)

1. 基準価額等の推移

当期の基準価額は、2.3%の上昇となりました。



○基準価額の高値・安値

期首	期中高値	期中安値	期末
19/7/25	20/1/20	19/8/15	20/1/27
13,505円	14,520円	12,016円	13,816円

※ベンチマークは期首の基準価額に合わせて指数化しています。

◇主な変動要因

- 上昇▲ ・実質的に組入れている株式の価格が上昇したこと
- 上昇▲ ・円に対して香港ドルが上昇したこと

◇ベンチマークとの比較

当期のベンチマークの騰落率は2.4%となり、ファンドの基準価額の騰落率との差異は0.1%でした。期を通じておおむねベンチマークに連動した推移となりました。

2. 投資環境

- ・中国企業株式市場は、期首から2019年8月にかけて、米国のトランプ大統領が中国に対して制裁関税（第4弾）を公表したことや、米国が中国を為替操作国に認定したことなどから、米中の対立激化が懸念され、下落しました。その後12月にかけては、米中貿易協定で両国が部分的な合意に至るとの期待に支えられ上昇しました。2020年1月から期末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大が実態経済に与える影響が懸念されたことなどを背景に下落しましたが、期を通じてみれば上昇となりました。
- ・為替市場で米ドルと連動する香港ドルは、米中間の対立懸念や軟調な欧米の経済指標などからリスク回避の姿勢が強まり、円に対して下落しました。2019年9月から12月にかけて、米中貿易交渉の進展期待が高まったことなどを背景に安全資産である円が売られ、円安・香港ドル高となりました。2020年1月から期末にかけては、中東情勢を巡る不透明感や新型コロナウイルスの感染拡大懸念などを背景に円が買い戻される展開となりましたが、期を通じてみれば、円に対して香港ドルは上昇しました。

3. 組入状況

当ファンドが主要投資対象とするピクテ中国株インデックス・マザーファンド受益証券への投資比率を高位に維持してまいりました。

<マザーファンドの組入状況>

中国企業の株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とし、ハンセン中国企業株指数（円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行ってまいりました。

◇業種別組入比率

【期首】

業種名	組入比率
金融	47.2%
コミュニケーション・サービス	20.6%
エネルギー	9.4%
不動産	5.3%
一般消費財・サービス	4.0%
公益事業	3.4%
資本財・サービス	2.7%
生活必需品	1.8%
ヘルスケア	1.7%
素材	1.3%



【期末】

業種名	組入比率
金融	45.1%
コミュニケーション・サービス	20.2%
エネルギー	8.3%
不動産	6.8%
一般消費財・サービス	5.0%
公益事業	4.2%
ヘルスケア	3.4%
生活必需品	2.6%
資本財・サービス	2.4%
素材	1.0%

(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）のセクターに基づき表示しています。

◇組入上位10銘柄

【期首】

銘柄名	業種名	組入比率
テンセント・ホールディングス	インタラクティブ・メディアおよびサービス	10.2%
中国平安保険	保険	9.7%
中国建設銀行	銀行	9.2%
チャイナ・モバイル	無線通信サービス	7.8%
中国工商銀行	銀行	7.4%
中国銀行	銀行	4.7%
中国海洋石油	石油・ガス・消耗燃料	4.5%
中国人寿保険	保険	2.8%
招商銀行	銀行	2.7%
中国石油化工	石油・ガス・消耗燃料	2.3%

【期末】

銘柄名	業種名	組入比率
テンセント・ホールディングス	インタラクティブ・メディアおよびサービス	10.8%
中国建設銀行	銀行	9.7%
中国平安保険	保険	9.1%
チャイナ・モバイル	無線通信サービス	7.4%
中国工商銀行	銀行	7.1%
中国銀行	銀行	4.5%
中国海洋石油	石油・ガス・消耗燃料	4.0%
中国人寿保険	保険	2.7%
招商銀行	銀行	2.6%
中国石油化工	石油・ガス・消耗燃料	2.0%



(注) 組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）の産業に基づき表示しています。

4. 収益分配金

当期の収益分配は、利子・配当等収益の水準および市況動向等を勘案し、見送りとさせていただきます。

なお、収益分配にあてなかった留保益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

◇分配原資の内訳

(単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第20期
	自 2019年7月26日 至 2020年1月27日
当期分配金 (対基準価額比率)	—
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	7,956

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税引前）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、当ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は小数点以下を切捨てて表示しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

5. 今後の運用方針

(1) 投資環境

新興国経済は、長期的に見て、若い労働人口が豊富であることなどを背景に、中間所得層の持続的な拡大や構造変化に後押しされ、先進国を凌ぐ成長力を有しているとの見方には変更ありません。新興国株式のバリュエーション（投資価値評価）は、先進国株式に比べて依然として魅力的な水準にあり、こうした点も新興国株式市場を下支えする材料となると考えられます。米中貿易摩擦問題は引き続き市場の注目点ですが、足元で米中通商交渉が第一段階の合意に至ったことは、新興国の経済成長見通しにもプラスと考えられます。加えて、多くの新興国が金融緩和に踏み切っていることや減税などの政策対応も、新興国経済の下支えとなると期待されます。新興国の金融市場や資源価格に影響を与える米ドル相場については、足元で米国が約10年半ぶりとなる利下げに踏み切るなど、金融政策の方針転換により、一段の上昇（米ドル高）懸念は後退したと考えられます。これは新興国市場にとって安心材料と考えられます。

(2) 投資方針

マザーファンド受益証券を主要投資対象とし、ハンセン中国企業株指数（円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行う方針です。

<マザーファンド>

中国企業の株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とし、ハンセン中国企業株指数（円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行う方針です。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	当期 (2019年7月26日~2020年1月27日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	13,142円	—	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 信託報酬 (投信会社)	66円 (39)	0.503% (0.296)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ・ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、各種情報提供等、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	(24)	(0.184)	・購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続等の対価
(受託会社)	(3)	(0.022)	・ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	1	0.006	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式会社)	(1)	(0.006)	・売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税	3	0.021	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(株式会社)	(3)	(0.021)	・有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	31	0.234	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(27)	(0.203)	・保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(4)	(0.028)	・監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.003)	・その他は、信託事務の処理等に要する諸費用
合計	101	0.764	

(注1) 上記の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。

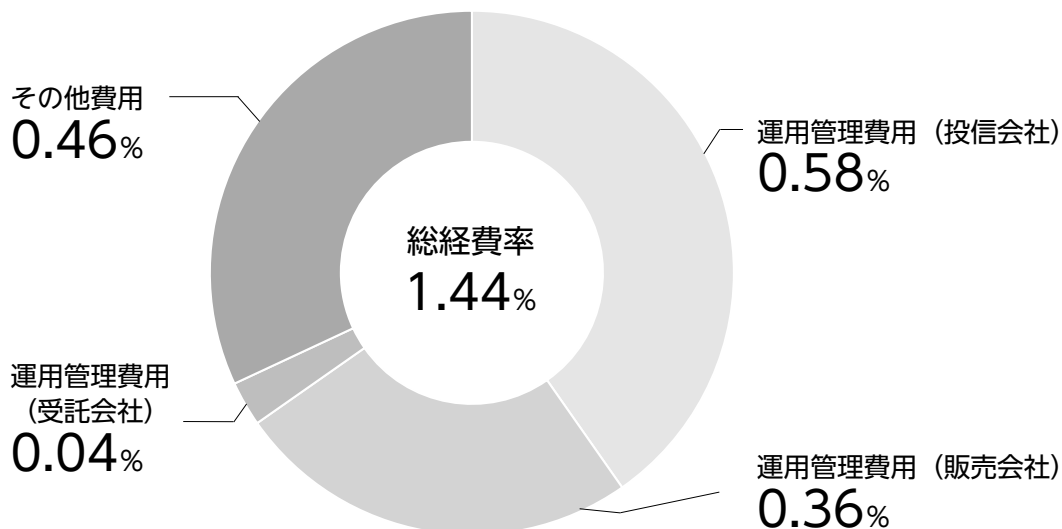
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各金額の円未満は四捨五入しています。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.44%**です。



(注1) 上記の費用は、「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■親投資信託受益証券の設定、解約状況 (2019年7月26日から2020年1月27日まで)

	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ピクテ中国株インデックス・マザーファンド	5,993	8,730	4,898	6,940

(注) 単位未満は切り捨てています。

■親投資信託における株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	35,261千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	177,082千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.19

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

■親投資信託における主要な売買銘柄 (2019年7月26日から2020年1月27日まで)

株式

買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
SUNAC CHINA HOLDINGS LTD(香港)	6	2,845	474	PING AN INSURANCE GROUP CO-H(香港)	1	1,275	1,275
SINO BIOPHARMACEUTICAL(香港)	15	2,244	149	IND & COMM BK OF CHINA-H(香港)	12	894	74
GEELY AUTOMOBILE HOLDINGS LT(香港)	12	2,109	175	CHINA CONSTRUCTION BANK-H(香港)	10	883	88
CHINA CONSTRUCTION BANK-H(香港)	17	1,435	84	AGRICULTURAL BANK OF CHINA-H(香港)	20	871	43
WANT WANT CHINA HOLDINGS LTD(香港)	15	1,287	85	CHINA MOBILE (HONG KONG)(香港)	1	870	870
CHINA RESOURCES GAS GROUP LT(香港)	2	1,224	612	CHINA NATIONAL BUILDING MA-H(香港)	8	831	103
CHINA TAIPING INSURANCE HOLD(香港)	3	924	256	HUATAI SECURITIES CO LTD-H(香港)	4	778	176
ANTA SPORTS PRODUCTS LTD(香港)	1	878	878	ANHUI CONCH CEMENT CO LTD-H(香港)	1	729	729
FOSUN INTERNATIONAL LTD(香港)	6	859	143	GUANGZHOU AUTOMOBILE GROUP-H(香港)	6	645	107
ANHUI CONCH CEMENT CO LTD-H(香港)	1	646	646	DONGFENG MOTOR GRP CO LTD-H(香港)	6	597	99

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。

■利害関係人との取引状況等 (2019年7月26日から2020年1月27日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

■ **自社設定投資信託受益証券等の状況等** (2019年7月26日から2020年1月27日まで)

該当事項はありません。

■ **特定資産の価格等の調査** (2019年7月26日から2020年1月27日まで)

該当事項はありません。

■ **組入資産の明細** (2020年1月27日現在)

親投資信託残高

種類	期首(前期末)	当期末	
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ピクテ中国株インデックス・マザーファンド	123,977	125,072	190,798

(注) 単位未満は切り捨てています。

■ **投資信託財産の構成** (2020年1月27日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
	千円	%
ピクテ中国株インデックス・マザーファンド	190,798	99.0
コール・ローン等、その他	1,945	1.0
投資信託財産総額	192,743	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) ピクテ中国株インデックス・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産 (190,213千円) の投資信託財産総額 (190,797千円) に対する比率は99.7%です。

(注3) ピクテ中国株インデックス・マザーファンドにおける外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1香港ドル=14.03円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年1月27日現在)

項目	当期末
(A)資産	192,743,799円
コール・ローン等	1,945,592
ピクテ中国株インデックス・マザーファンド(評価額)	190,798,207
未収入金	-
(B)負債	956,767
未払解約金	-
未払信託報酬	906,466
未払利息	5
その他未払費用	50,296
(C)純資産総額(A-B)	191,787,032
元本	138,814,886
次期繰越損益金	52,972,146
(D)受益権総口数	138,814,886口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,816円

■損益の状況

当期(自2019年7月26日 至2020年1月27日)

項目	当期
(A)配当等収益	△ 598円
支払利息	△ 598
(B)有価証券売買損益	5,504,923
売買益	5,999,513
売買損	△ 494,590
(C)信託報酬等	△ 956,770
(D)当期損益金(A+B+C)	4,547,555
(E)前期繰越損益金	11,690,069
(F)追加信託差損益金	36,734,522
(配当等相当額)	(59,625,096)
(売買損益相当額)	(△22,890,574)
(G)計(D+E+F)	52,972,146
(H)収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	52,972,146
追加信託差損益金	36,734,522
(配当等相当額)	(59,634,499)
(売買損益相当額)	(△22,899,977)
分配準備積立金	50,817,281
繰越損益金	△34,579,657

<注記事項(当運用報告書作成時点では、監査未了です。)>
(貸借対照表関係)

(注1) 期首元本額	136,853,027円
期中追加設定元本額	9,191,301円
期中一部解約元本額	7,229,442円
(注2) 1口当たり純資産額	1.3816円

- (注1) 損益の状況の中で**(B)有価証券売買損益**は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で**(C)信託報酬等**には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で**(F)追加信託差損益金**とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 第20期計算期間末における費用控除後の配当等収益(845,672円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(59,634,499円)および分配準備積立金(49,971,609円)より分配対象収益は110,451,780円(10,000口当たり7,956円)ですが、当期に分配した金額はありません。
- (注5) 当ファンドが組入れているマザーファンドにおいて、信託財産の運用の指図に係る権限の全部または一部を委託するために要する費用は、当該マザーファンドに係る信託財産の純資産総額のうち、当ファンドに対応する部分の年率0.20%以内の額です。

<お知らせ>

該当事項はありません。

ピクテ中国株インデックス・マザーファンド

運用状況のご報告

第10期（決算日：2020年1月27日）
（計算期間：2019年1月26日～2020年1月27日）

受益者のみなさまへ

「ピクテ中国株インデックス・マザーファンド」は、「ピクテ・インデックス・ファンド・シリーズ-中国株」が投資対象とするマザーファンドで、信託財産の実質的な運用を行っております。以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第10期の運用状況をご報告申し上げます。

●当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	ハンセン中国企業株指数（円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行います。
主要投資対象	中国企業の株式（預託証券を含みます。）
主な投資制限	株式への投資割合…制限を設けません。 外貨建資産への投資割合…制限を設けません。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		ベンチマーク		株式 組入比率	株式 先物比率	純資産 総額
		期中 騰落率		期中 騰落率			
	円	%		%	%	%	百万円
6期(2016年1月25日)	10,795	△31.7	9,190	△33.7	99.8	－	174
7期(2017年1月25日)	12,907	19.6	10,658	16.0	98.9	－	193
8期(2018年1月25日)	17,693	37.1	14,216	33.4	99.1	－	235
9期(2019年1月25日)	14,379	△18.7	11,142	△21.6	99.6	－	188
10期(2020年1月27日)	15,255	6.1	11,472	3.0	99.0	－	190

(注1) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注2) ベンチマークは、ハンセン中国企業株指数を委託者が円換算したもので、株式の組入れが基準価額へ反映されるタイミングを考慮して設定日(2010年5月31日)の翌営業日の基準価額に合わせて指数化しています。設定日は10,000としています。

■当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		ベンチマーク		株式 組入比率	株式 先物比率
		騰落率		騰落率		
(期首)	円	%		%	%	%
2019年1月25日	14,379	－	11,142	－	99.6	－
1月末	14,552	1.2	11,276	1.2	99.4	－
2月末	15,553	8.2	12,061	8.2	97.2	－
3月末	15,329	6.6	11,898	6.8	99.3	－
4月末	15,754	9.6	12,219	9.7	98.8	－
5月末	14,114	△1.8	10,852	△2.6	98.3	－
6月末	14,738	2.5	11,195	0.5	97.6	－
7月末	14,825	3.1	11,195	0.5	97.4	－
8月末	13,421	△6.7	10,102	△9.3	97.3	－
9月末	13,862	△3.6	10,403	△6.6	98.0	－
10月末	14,434	0.4	10,843	△2.7	98.8	－
11月末	14,665	2.0	11,016	△1.1	98.8	－
12月末	15,597	8.5	11,734	5.3	99.3	－
(期末)						
2020年1月27日	15,255	6.1	11,472	3.0	99.0	－

(注1) 騰落率は期首比です。

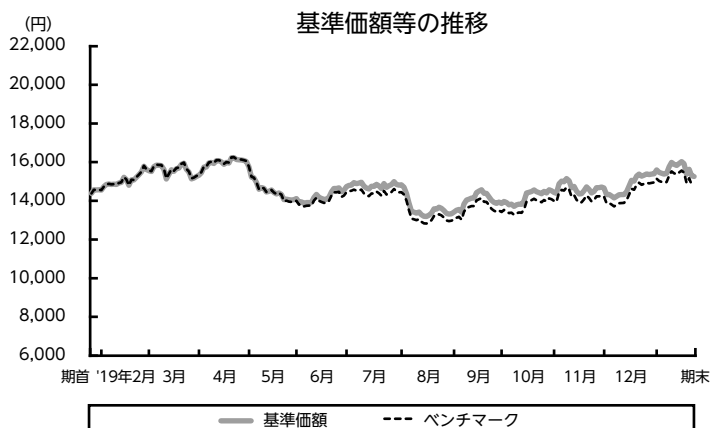
(注2) 株式先物比率は買建比率－売建比率です。

(注3) ベンチマークは、ハンセン中国企業株指数を委託者が円換算したもので、株式の組入れが基準価額へ反映されるタイミングを考慮して設定日(2010年5月31日)の翌営業日の基準価額に合わせて指数化しています。

■当期中の運用状況と今後の運用方針 (2019年1月26日から2020年1月27日まで)

1. 基準価額等の推移

当期の基準価額は、6.1%の上昇となりました。



○基準価額の高値・安値

期首	期中高値	期中安値	期末
19/1/25	19/4/18	19/8/15	20/1/27
14,379円	16,242円	13,198円	15,255円

※ベンチマークは期首の基準価額に合わせて指数化しています。

◇主な変動要因

- 上昇▲ ・組入れている株式の価格が上昇したこと
- 上昇▲ ・円に対して香港ドルが上昇したこと

◇ベンチマークとの比較

当期のベンチマークの騰落率は3.0%となり、ファンドの基準価額の騰落率との差異は3.1%でした。配当金相当が主な差異要因となりましたが、期を通じておおむねベンチマークに連動した推移となりました。

2. 投資環境

- ・中国企業株市場は、期首から2019年2月にかけて、米連邦準備制度理事会（FRB）のパウエル議長のハト派（金融緩和選好）的な発言を受けて世界的に株高が進行したことや、中国政府による景気刺激策に対する期待が高まったことなどを背景に、上昇しました。3月から4月にかけては、中国の一部の経済指標が良好であったことなどから上昇する局面もありましたが、その後中国景気の持ち直しを受けて中国政府の景気刺激策に対する期待が後退したため下落するなど、方向感を欠く展開となりました。5月は、米中貿易問題が再燃したことを受けて景気減速懸念が強まり、世界的に株安となる中、下落しました。6月から7月にかけては、米中首脳会談で貿易協議が再開されることが決まったことや、米欧の中央銀行がより金融緩和的な姿勢を示したことなどを背景に上昇しました。その後8月にかけて、米国のトランプ大統領が中国に対して制裁関税（第4弾）を公表したことや、米国が中国を為替操作国に認定したことなどから、米中の対立激化が懸念され、下落しました。その後12月にかけては、米中貿易協議で両国が部分的な合意に至るとの期待に支えられ上昇しました。2020年1月から期末にかけては、新型コロナウイルスの感染拡大が実態経済に与える影響が懸念されたことなどを背景に下落しましたが、期を通じてみれば上昇となりました。
- ・為替市場で米ドルと連動する香港ドルは、期首から2019年4月にかけては、株式市場が反発し投資家のリスク回避姿勢が後退したことや、米国や中国といった経済大国の一部の経済指標に景気回復の兆しが見られたことなどを背景に、香港ドル高・円安が進行しました。5月から7月にかけて、米国と中国が貿易協議で合意できず問題が再燃したことで、投資家のリスク回避姿勢が強まったことや、米国の金融政策がより金融緩和的な姿勢を示したことなどを背景に、香港ドル安・円高が進行しました。9月から12月にかけて、米中貿易交渉の進展期待が高まったことなどを背景に安全資産である円が売られ、円安・香港ドル高となりました。2020年1月から期末にかけては、中東情勢を巡る不透明感や新型コロナウイルスの感染拡大懸念などを背景に円が買い戻される展開となりましたが、期を通じてみれば、円に対して香港ドルは上昇しました。

3. 組入状況

中国企業の株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とし、ハンセン中国企業株指数（円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行ってまいりました。

◇業種別組入比率

【期首】

業種名	組入比率
金融	54.3%
コミュニケーション・サービス	19.6%
エネルギー	11.1%
資本財・サービス	3.6%
一般消費財・サービス	2.9%
公益事業	2.5%
不動産	2.0%
ヘルスケア	1.9%
素材	1.0%
生活必需品	0.6%

【期末】

業種名	組入比率
金融	45.1%
コミュニケーション・サービス	20.2%
エネルギー	8.3%
不動産	6.8%
一般消費財・サービス	5.0%
公益事業	4.2%
ヘルスケア	3.4%
生活必需品	2.6%
資本財・サービス	2.4%
素材	1.0%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）のセクターに基づき表示しています。

◇組入上位10銘柄

【期首】

銘柄名	業種名	組入比率
中国建設銀行	銀行	10.1%
中国工商銀行	銀行	9.6%
中国平安保険	保険	9.1%
テンセント・ホールディングス	インタラクティブ・メディアおよびサービス	8.3%
チャイナ・モバイル	無線通信サービス	8.2%
中国銀行	銀行	6.3%
中国海洋石油	石油・ガス・消耗燃料	3.7%
中国石油化工	石油・ガス・消耗燃料	3.6%
中国人寿保険	保険	3.1%
招商銀行	銀行	2.8%

【期末】

銘柄名	業種名	組入比率
テンセント・ホールディングス	インタラクティブ・メディアおよびサービス	10.8%
中国建設銀行	銀行	9.7%
中国平安保険	保険	9.1%
チャイナ・モバイル	無線通信サービス	7.4%
中国工商銀行	銀行	7.1%
中国銀行	銀行	4.5%
中国海洋石油	石油・ガス・消耗燃料	4.0%
中国人寿保険	保険	2.7%
招商銀行	銀行	2.6%
中国石油化工	石油・ガス・消耗燃料	2.0%

(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。業種はGICS（世界産業分類基準）の産業に基づき表示しています。

4. 今後の運用方針

(1) 投資環境

新興国経済は、長期的に見て、若い労働人口が豊富であることなどを背景に、中間所得層の持続的な拡大や構造変化に後押しされ、先進国を凌ぐ成長力を有しているとの見方には変更ありません。新興国株式のバリュエーション（投資価値評価）は、先進国株式に比べて依然として魅力的な水準にあり、こうした点も新興国株式市場を下支えする材料となると考えられます。米中貿易摩擦問題は引き続き市場の注目点ですが、足元で米中通商交渉が第一段階の合意に至ったことは、新興国の経済成長見通しにもプラスと考えられます。加えて、多くの新興国が金融緩和に踏み切っていることや減税などの政策対応も、新興国経済の下支えとなると期待されます。新興国の金融市場や資源価格に影響を与える米ドル相場については、足元で米国が約10年半ぶりとなる利下げに踏み切るなど、金融政策の方針転換により、一段の上昇（米ドル高）懸念は後退したと考えられます。これは新興国市場にとって安心材料と考えられます。

(2) 投資方針

中国企業の株式（預託証券を含みます。）を主要投資対象とし、ハンセン中国企業株指数（円換算）に連動する投資成果を目指すことを目的に運用を行う方針です。

■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

項目	当期 (2019年1月26日~2020年1月27日)		項目の概要
	金額	比率	
平均基準価額	14,737円	—	期中の平均基準価額（月末値の平均値）です。
(a) 売買委託手数料 (株 式)	1円 (1)	0.008% (0.008)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ・ 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (株 式)	8 (8)	0.056 (0.056)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ・ 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	61 (60) (0)	0.412 (0.409) (0.003)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ・ 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 ・ その他は、信託事務の処理に要するその他の諸費用
合計	70	0.476	

(注1) 上記の費用（消費税等のかかるものは消費税を含む）は、設定・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、各項目毎に小数第3位未満は四捨五入しています。

(注3) 各金額の円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買および取引の状況（2019年1月26日から2020年1月27日まで）

株式

		買付		売付	
		株数	金額	株数	金額
外 国		百株	千香港ドル	百株	千香港ドル
	香港	1,964	3,305	5,181	3,656

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	97,142千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	184,524千円
(c) 売買高比率(a)／(b)	0.52

(注1) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。

■主要な売買銘柄 (2019年1月26日から2020年1月27日まで)

株式

買付				売付			
銘柄	株数	金額	平均単価	銘柄	株数	金額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
CHINA MOBILE (HONG KONG)(香港)	3	3,897	1,113	PING AN INSURANCE GROUP CO-H(香港)	4	5,458	1,213
TENCENT HOLDINGS LTD(香港)	0.7	3,420	4,885	IND & COMM BK OF CHINA-H(香港)	55	4,380	79
ANTA SPORTS PRODUCTS LTD(香港)	4	2,996	749	BANK OF CHINA LTD-H(香港)	60	2,865	47
COUNTRY GARDEN HOLDINGS COMPANY LIMITED(香港)	18	2,847	158	CHINA MOBILE (HONG KONG)(香港)	2	2,359	943
SUNAC CHINA HOLDINGS LTD(香港)	6	2,845	474	CHINA CONSTRUCTION BANK-H(香港)	19	1,735	91
SINO BIOPHARMACEUTICAL(香港)	15	2,244	149	AGRICULTURAL BANK OF CHINA-H(香港)	36	1,707	47
GEELY AUTOMOBILE HOLDINGS LT(香港)	12	2,109	175	CHINA MERCHANTS BANK-H(香港)	3	1,614	538
ENN ENERGY HOLDINGS LTD(香港)	2	2,045	1,022	CHINA PETROLEUM & CHEMICAL-H(香港)	18	1,512	84
CHINA RESOURCES BEER HOLDING(香港)	4	1,924	481	CHINA RESOURCES LAND LTD(香港)	3	1,478	492
CHINA CONSTRUCTION BANK-H(香港)	22	1,872	85	TENCENT HOLDINGS LTD(香港)	0.3	1,469	4,899

(注1) 金額は受渡代金です。

(注2) 単位未満は切り捨てています。ただし、単位未満の場合は小数で記載しています。

■利害関係人との取引状況等 (2019年1月26日から2020年1月27日まで)

該当事項はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人をいいます。

■特定資産の価格等の調査 (2019年1月26日から2020年1月27日まで)

該当事項はありません。

■組入資産の明細 (2020年1月27日現在)

外国株式

上場・登録株式

銘柄	期首 (前期末)	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(香港・・・香港市場)	百株	百株	千香港ドル	千円	
CHINA MOBILE (HONG KONG)	135	145	1,010	14,179	電気通信サービス
ANHUI CONCH CEMENT CO LTD-H	35	25	136	1,920	素材
HUANENG POWER INTL INC-H	140	—	—	—	公益事業
HENGAN INTL GROUP CO LTD	15	15	93	1,306	家庭用品・パーソナル用品
CSPC PHARMACEUTICAL GROUP LT	100	120	224	3,148	医薬・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
CHINA RESOURCES LAND LTD	60	70	239	3,358	不動産
CITIC LIMITED	120	150	144	2,032	資本財
PETROCHINA CO LTD-H	600	540	201	2,825	エネルギー
CHINA TAIPING INSURANCE HOLD	—	36	65	915	保険
CHINA PETROLEUM & CHEMICAL-H	784	604	270	3,796	エネルギー
ENN ENERGY HOLDINGS LTD	—	20	192	2,697	公益事業
CHINA GAS HOLDINGS LTD	36	48	155	2,178	公益事業
GEELY AUTOMOBILE HOLDINGS LT	—	120	161	2,262	自動車・自動車部品
CHINA RESOURCES GAS GROUP LT	—	20	89	1,259	公益事業
BYD CO LTD-H	20	20	92	1,296	自動車・自動車部品
CHINA TELECOM CORP LTD-H	380	300	94	1,330	電気通信サービス
PICC PROPERTY&CASUALTY-H	193	153	140	1,966	保険
GREAT WALL MOTOR COMPANY-H	80	—	—	—	自動車・自動車部品
CHINA LIFE INSURANCE CO-H	220	180	370	5,202	保険
GUANGDONG INVESTMENT LTD	60	80	132	1,860	公益事業
CHINA RESOURCES BEER HOLDING	—	40	153	2,146	食品・飲料・タバコ
CNOOC LTD	390	420	547	7,683	エネルギー
SINO BIOPHARMACEUTICAL	—	150	172	2,415	医薬・バイオテクノロジー・ライフサイエンス
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	170	130	1,233	17,299	保険
AIR CHINA LTD-H	80	—	—	—	運輸
CHINA SHENHUA ENERGY CO-H	110	75	110	1,551	エネルギー
BANK OF COMMUNICATION CO-H	240	190	100	1,410	銀行
CHINA CONSTRUCTION BANK-H	2,030	2,060	1,324	18,588	銀行
SHENZHOU INTERNATIONAL GROUP	10	19	212	2,974	耐久消費財・アパレル
DONGFENG MOTOR GRP CO LTD-H	100	—	—	—	自動車・自動車部品
BANK OF CHINA LTD-H	2,418	1,918	613	8,611	銀行
CHINA MERCHANTS BANK-H	120	90	359	5,038	銀行
IND & COMM BK OF CHINA-H	2,204	1,714	963	13,518	銀行
CHINA COMMUNICATIONS CONST-H	120	120	70	988	資本財
COUNTRY GARDEN HOLDINGS COMPANY LIMITED	—	180	196	2,762	不動産
CHINA CITIC BANK-H	300	240	105	1,474	銀行
ANTA SPORTS PRODUCTS LTD	—	30	219	3,074	耐久消費財・アパレル
FOSUN INTERNATIONAL LTD	—	60	69	969	資本財
CHINA RAILWAY GROUP LTD-H	120	—	—	—	資本財

銘柄	期首 (前期末)	当期末			業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(香港・・・香港市場)	百株	百株	千香港ドル	千円	
WANT WANT CHINA HOLDINGS LTD	－	150	103	1,450	食品・飲料・タバコ
CHINA PACIFIC INSURANCE GR-H	80	60	171	2,407	保険
CRRC CORP LTD-H	130	70	38	541	資本財
SINOPHARM GROUP CO-H	36	24	66	931	ヘルスケア機器・サービス
GUANGZHOU AUTOMOBILE GROUP-H	100	－	－	－	自動車・自動車部品
SUNAC CHINA HOLDINGS LTD	－	60	248	3,489	不動産
LONGFOR GROUP HOLDINGS LTD	－	40	138	1,944	不動産
NEW CHINA LIFE INSURANCE CO	29	21	67	945	保険
CHINA MINSHENG BANKING-H	184	184	107	1,509	銀行
AGRICULTURAL BANK OF CHINA-H	880	610	195	2,738	銀行
CITIC SECURITIES CO LTD-H	60	40	66	938	各種金融
HAITONG SECURITIES CO.,LTD	80	80	66	934	各種金融
PEOPLE'S INSURANCE COMPANY (GROUP) OF C	230	230	70	993	保険
POSTAL SAVINGS BANK OF CHI-H	290	220	112	1,583	銀行
CHINA TOWER CORP LTD-H	1,440	980	171	2,406	電気通信サービス
CHINA CINDA ASSET MANAGEMENT COMPANY LTD	300	－	－	－	各種金融
TENCENT HOLDINGS LTD	34	38	1,466	20,568	メディア・娯楽
CHINA VANKE CO LTD-H	33	33	99	1,391	不動産
CGN POWER CO LTD-H	380	－	－	－	公益事業
GF SECURITIES CO LTD-H	44	－	－	－	各種金融
HUATAI SECURITIES CO LTD-H	44	－	－	－	各種金融
CHINA HUARONG ASSET MANAGE-H	360	－	－	－	各種金融
ZHONGAN ONLINE P&C INSURAN-H	15	－	－	－	保険
合計	株数・金額 銘柄数<比率>	16,141 50	12,924 50	13,458 －	188,822 <99.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率です。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨てています。

(注4) 一印は組入れがありません。

■投資信託財産の構成

(2020年1月27日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
株式	千円 188,822	% 99.0
コール・ローン等、その他	1,975	1.0
投資信託財産総額	190,797	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨てています。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (190,213千円) の投資信託財産総額 (190,797千円) に対する比率は99.7%です。

(注3) 外貨建資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは、1香港ドル＝14.03円です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2020年1月27日現在)

項目	当期末
(A)資産	190,797,359円
コール・ローン等	1,967,876
株式(評価額)	188,822,749
未収配当金	6,734
(B)負債	1
未払利息	1
(C)純資産総額(A-B)	190,797,358
元本	125,072,571
次期繰越損益金	65,724,787
(D)受益権総口数	125,072,571口
1万口当たり基準価額(C/D)	15,255円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

(注1) 期首元本額	131,160,106円
期中追加設定元本額	14,010,672円
期中一部解約元本額	20,098,207円
(注2) 1口当たり純資産額	15,255円
(注3) 期末における元本の内訳	
ビクテ・インデックス・ファンド・シリーズ-中国株	125,072,571円

■損益の状況

当期(自2019年1月26日 至2020年1月27日)

項目	当期
(A)配当等収益	6,128,851円
受取配当金	6,122,068
受取利息	8,019
支払利息	△ 1,236
(B)有価証券売買損益	5,992,483
売買益	18,728,401
売買損	△ 12,735,918
(C)その他費用等	△ 772,850
(D)当期損益金(A+B+C)	11,348,484
(E)前期繰越損益金	57,428,768
(F)追加信託差損益金	6,929,328
(G)解約差損益金	△ 9,981,793
(H)計(D+E+F+G)	65,724,787
次期繰越損益金(H)	65,724,787

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)その他費用等にはその他費用に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、一部解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

該当事項はありません。